



Walk with Children めぐる

大人 子供

せいび

192号
2023年7月

体のともし火は目である。目が澄んでいれば、あなたの全身が明るいが、
濁ってれば、全身が暗い。 (マタイ6章22-23節)

校長 シスター 小島 理恵

2期制がスタートした今年度ですが、すでに前期前半を終えようとしています。学校ではこの数か月の間に、日々の学習のほか春の遠足、合宿、聖母祭、運動会など様々な行事が行われ、コロナ以前の活気を取り戻してきた感があります。

3年生から6年生までの合宿では、道の歩き方をはじめ、集団生活での身の振り方、荷物の整理整頓、入浴の仕方など、一つ一つを丁寧に指導しなければならなかったことを顧みますと、実施が叶わなかった空白の数年間が、子ども達に与えている影響の大きかったことを痛感させられ、改めて行事で学ぶことがどれほど子ども達にとって大切なことであったかを思い知らされます。しかし、私たち教員の心配をよそに、子ども達は、24時間友達や先生と共に過ごせる時間を、目をきらきらと輝かせながらたいへん楽しんでいる様子がかえりました。この喜びの体験もまた一つの学びとなり、一人一人の成長を支えてくれるものなのでしょう。

さて、朝、入校時刻以前に登校してくる子ども達は、時間まで校庭の日陰で待つようにしています。中には、すでに汗で帽子まで濡れてしまっている子どもたちもいます。これから夏に向かい、益々暑さが増してきますので、子ども達の水分補給には十分気を付けて参りたいと思います。

コネッショナーネ
Conessione ~つながり~

「Conessione」とは、イタリア語で「つながり」を意味する言葉です。
そこで、ここではキリスト教とのつながりを大切にするための豆知識を紹介していきます。

神さまといつもいっしょ私たちみんな

- 1 朝が来て夜があける 太陽のプレゼント
- 2 小鳥たち 小枝から おはようのごあいさつ
- 3 おいしそう 食べましょう お食事のプレゼント

ありがとう 神さま ありがとう たくさんのおめぐみを
ありがとう 神さま ありがとう 私たちのため



聖歌「神さまといつもいっしょ」

自然の恵みをいただけること、小さな生き物たちと共に生きていること、私たちが毎日ご飯を食べられること、すべてに対して子どもも大人も、神様がくださった恵みであることに気づき、感謝の気持ちを素直に感じることができる聖歌です。

6年生が沖縄・美ら島学校を終え、平和学習を通して感じてきたことや学んできたことを、語り部となって5年生に伝える活動が行われました。神様から与えられたすべての命を大切にするには、私たちの住み家である地球を大切にする事です。フランシスコ教皇様も、回勅「ラウダート・シ」の中で、「ともに暮らす家を大切に」と述べられて、9月1日を「被造物（動植物を含む生物）を大切にする世界祈願日」と定めています。また豊かな国が貧しい人々を搾取するようなことがあってはならないともおっしゃっています。

環境問題はおるか、人間同士の争いによって神様が用意してくださった地球を失ってしまうのではないかと不安な毎日の中で戦後78年の8月を迎えます。小学生でも、身の回りの環境や命を守るために、何かできることがあるはず。ずっとずっと「戦後」と呼んでいられる世界でありますよう、お子さんと話し合い、毎日の生活を見直し、お祈りをする機会を持っていただければと思います。

4・5・6年生の合宿では、友の存在の大きさをを感じる様々な学びがありました。

尾瀬高原学校

友達との成長

5年生

私は、この合宿を通して友達との関係が深まり、成長したように感じました。尾瀬ヶ原へのハイキングの時、寒く雪まで降っていました。足がじんじんとして、とても痛くて木道も歩きにくかったです。がんばって歩いていけれど、もう限界になったその時、友達が

「がんばってあともう少しだよ。」

と応援してはげましてくれました。その言葉で元気をもらい、最後まで歩きました。やさしさや思いやりを感じ、友達との関係が深まりお互いに成長したように思いました。

志賀高原学校

がんばったハイキング

4年生

志賀高原の合宿で心に残った事はハイキングです。なぜなら、冬にふった雪、面白い形の木、しぶ池、大沼池など自然がたくさん見られたからです。どれもきれいで、元気づけられて大変だった山道も歩いてきたことをうれしく感じました。みんなで声をかけ合いながらがんばりました。

ハイキングのと中でクラスのみんなで

「やっほー。」

と言ったら山びこが返ってきた事も楽しかったです。

合宿では協力し合ったり、助けあったりすることを学び、充実した時間を過ごす事ができました。



美ら島学校

美ら島

6年生

とても楽しみにしていた沖縄。楽しかった沖縄。僕は、沖縄に行く前に戦争について学びました。3日目に行った平和祈念資料館で見た資料から戦争の本当の悲惨さを感じ、泣きたくなりました。そして、ふと、「なぜ神様は戦争を止めてくれなかったのだろう。」と思いました。資料で見た悲惨さと神様のことを考えていたら、なかなか眠ることができませんでしたが、しばらくして自分の中で答えを見つけました。きっと神様は、命の大切さをもう一度知ってほしかったのではないかと考えました。僕はこれから、戦争のことを忘れずに、命を落としてしまった人の分まで、喜び、楽しみ、元気に生きていきたいと思いました。



運動会 6月30日(金) ~とどろきアリーナ~

とどろきアリーナに子どもたちの歓声、歌声、応援が響き渡りました。
ゴールに向かう真剣なまなざし。仲間を送る力いっぱいの声援。今までの練習の成果を十分に発揮した一日。そして、
笑顔の花が満開になった一日でした。

